

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>将来はブロードバンド 100 パーセントの必要な時期がくることは否定しない。しかし2015年までにすべて整備しなくてはならないということは必要ないのではないか。現在の整備地域でも、普及率が上がらないのは料金が高いだけではないと思う。利用者夫々が「光」の必要性を持つ者とそうでない者がおり現在のアクセス網で不便を感じないという人がいるのではないか。</p> <p>すべて超高速ブロードバンド化した方が経済的だという意見もあるようであるが、この点については、理解しにくい点もあるので、もう少し分かりやすいデータをオープンにし、多くの人の理解が出来るようにすることが必要ではないか。</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	